

令和3年度 卒業証書授与式 式辞

すっかりと春めいて、校庭の桜のつぼみが大きく膨らみ今にも花を咲かせようとしている今日、海田町教育委員会教育委員 米丸禎宏様、海田町教育委員会教育指導監 松本孝司様、そして、多くの保護者の皆様にご臨席を賜り、令和3年度海田町立海田東小学校卒業証書授与式を挙行できますこと、この上もない喜びであります。厚くお礼申し上げます。

95名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが手にした卒業証書はこれまでの六十年の学業を立派に修了した証です。本日、臨席がかなわなかった地域の皆様、在校生も皆さんの門出を心から祝福しています。

みなさんが、最高学年となった令和3年度は、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々な行事が中止・延期・縮小・変更となり、皆さんの思い出作りや活躍の場が限られてしまった一年でした。

このような一年を、皆さんは明るく前向きに頑張り、大きな成長を遂げました。

遠足や東小祭りをはじめとする日々の様々な場面で、学校のリーダーとして大活躍しました。

卒業前には、校内のいろいろなところを、心を込めて大掃除をし、各学年や先生への温かいメッセージも添えてくれました。

町の陸上記録会や体育発表会等の行事では、自分が持っている力を出し切る姿、友達を応援し、友達の良さを認める姿、成功を喜ぶ姿が見られました。逆に力を出し切れずに悔しい思いをして次に生かそうとする姿もありました。

総合的な学習の時間を中心に学習を進めてきたSDGsの学習では、国際的な視野に立って物事を見る機会となりました。

この学習で、世界には様々な国がありそれぞれに良さや課題があること、世界が、地球が抱える問題については、世界で共通理解し取り組んでいかななくてはならないことを学びました。

今、改めて世界に目を転じてみると、平和の祭典であるオリンピック・パラリンピックが開催された一方、ロシアのウクライナ侵攻により、多くの人の命が奪われています。

戦争が行われている状態は、SDGsの持続可能な十七の目標の全てが否定される状態です。世界に一日も早く穏やかな日常が戻ることを祈りながら、自分にできることは何か、皆さんなら考えていることと思います。

さて、中学校生活はもう目の前です。これから、夢中になれるものや尊敬する人との新しい出会いがあることでしょう。学校生活の中で、自分はどんなことが好きなのだろうか。自分は何がしたいのだろうか。自分は何に向いているのだろうか、と常に自分を見つめてください。そうすることで、「私はこれが好きだから、こう生きていきます」と言えるようになってほしいと思います。

自分を見つめ、生き方を考えることは、私たち大人も常に求められていることです。

保護者のみなさま、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。六年間でこのように大きく成長され小学校卒業という節目を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

これから、お子さまは人生の中で最も多感な時期に入ります。楽しみが多い反面、保護者として悩まれることも多いことでしょう。しかし、皆様の深い愛情と前向きな姿がお子さんを強く勇気付けることと思います。お子さんの夢の実現の一番の応援団として、これからも大きな愛情を注いでいただきますようお願いいたします。

私たち海田東小学校教職員も、引き続き応援をまいります。

卒業生の皆さん、皆さんの周りの応援団は皆さんの夢の実現を後押ししてくれます。臆することなく様々なことにチャレンジをして、充実した中学校生活を送ってください。

輝かしい未来に羽ばたく皆さんに心からの祝福と激励のエールを贈り式辞とさせていただきます。

令和4年3月18日 海田町立海田東小学校長 石川 和明